

4 文字の組立て方と関連付けた指導について (3・4年)

<p>【板書事項】</p> <p>漢字の組み合わせを考えてみよう</p> <p>「板 図 族 息 固 悲」</p> <p>「板 族」「息 悲」「図 固」</p> <p>左と右に分かれている。 上と下に分かれている。 かまえの中に入っている。</p> <p>次の漢字を組み合わせて 一つの漢字を作ってみよう。</p> <p>日 木 目 女 黄 一 土</p> <p>糸 口 生 王 十 竹 本</p> <p>冬 魚 耳 由 門</p> <p>相 横 星 笛 回 聞</p> <p>まとめ</p> <p>部首と他の部分は、左と右、上と下、内と外などの関係の組立て方がある。</p>	<p>【指導の流れ】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 一つの漢字が組み合わされてできていることを学習させる。 「『板 図 族 息 固 悲』を漢字の部分の同じものに分けてみよう。どこが同じかな。」 2 それぞれ、どのような観点から分けたのか、ノートに書かせ発表させる。 3 漢字の組立てを考える問題を出す。 それぞれの単漢字を組み合わせて一つの漢字を書かせる。児童に発表させる。 <p>組み合わせた漢字がどう見えるか感想を話し合わせる。</p> <p>C「組み合わせると一つの漢字ができた。」</p> <p>C「へんとつくりが少しずつ細くなつて、一つの漢字にかんむりとあしは平たくなって漢字ができた。」</p> <p>4 それぞれの漢字が組み合わさつて一つの漢字になる時は、左と右、上と下、内と外などの関係の組立て方がある。</p>	<p>【留意点】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 「星」という漢字であれば「日」「生」のそれぞれの部分が、組立て方の関係によって形が整えられることを理解させていく指導である。 2 一つ一つの漢字を組み合わせても一つの漢字にならないことを気付かせていくことも大切である。これは中学年以降、増えてくる会意文字や形声文字を学習する際の考え方として有効である。 3 漢字指導と書写の時間を関連付けて楽しく仕組みを理解させる。 <p>参考文献 「書くこと」の学びを支える国語科書写指導の展開 松本仁志 三省堂</p>
--	---	---